



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社岐阜造園 上場取引所 東名
コード番号 1438 U R L <https://www.gifu-zohen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 準
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部長 (氏名) 兼松 正道 TEL 058-272-4120
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	1,757	14.6	280	71.5	286	70.0	198	71.4
2025年9月期第1四半期	1,534	10.1	163	△5.1	168	△4.3	115	△5.2

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 232百万円 (87.9%) 2025年9月期第1四半期 123百万円 (2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	61.04	60.67
2025年9月期第1四半期	35.64	35.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	5,672	4,318	76.1
2025年9月期	5,776	4,144	71.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 4,317百万円 2025年9月期 4,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 一	円 銭 18.00	円 銭 一	円 銭 18.00	円 銭 36.00
2026年9月期	円 銭 一	円 銭 20.00	円 銭 一	円 銭 20.00	円 銭 40.00
2026年9月期(予想)	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,159	4.5	387	19.2	394	19.2	270	20.8	83.35
通期	6,312	0.6	565	5.1	575	4.8	385	0.2	118.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2026年2月13日)公表いたしました「2026年9月期第2四半期(中間期)業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年9月期 1Q	3,244,600株	2025年9月期	3,244,600株
2026年9月期 1Q	387株	2025年9月期	387株
2026年9月期 1Q	3,244,213株	2025年9月期 1Q	3,242,213株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しに加え、インバウンド需要の定着がサービス消費を下支えし、緩やかな回復基調が継続いたしました。しかしながら、地政学リスクの長期化に伴う資源価格の変動や、主要国の金融政策が為替相場に与える影響など、先行き不透明な状況が続きました。一方で、企業の景況感は概ね堅調であり、特に持続可能な社会の実現に向けた環境投資やデジタルトランスフォーメーション(DX)に関連する設備投資は、積極的な姿勢が維持されました。

建設業界においては、公共投資が「国土強靭化実施計画」に基づき、インフラの老朽化対策や防災・減災対策を中心に安定的に推移いたしました。民間投資においても、都市部における大規模再開発プロジェクトや、環境意識の高まりを背景としたオフィス・商業施設の緑化需要が活発に推移いたしました。一方で、建設資材価格の高止まりに加え、労働力不足による人件費の上昇や、いわゆる「建設業の2024年問題」後の働き方改革に伴う工期管理の適正化への対応が、引き続き業界全体の喫緊の課題となっております。

このような状況の下で、当社グループは、持続可能な成長を図るべく、施工力・提案力の強化と人材育成に注力してまいりました。人材面では、若手層・中堅層の育成を目的とした研修制度「岐阜造園アカデミー」の充実を図るとともに、働き方改革を背景に、多様な働き方への対応と生産性向上に取り組みました。事業面では、ガーデンエクステリアにおいて、大手ハウスメーカーとのパートナーシップを一段と深め、高付加価値な提案による受注単価の向上に努めました。ランドスケープにおいても、高級商業施設や宿泊施設を中心に、新規案件の受注に注力しました。売上・利益に関しては、中部地区の大型商業施設や関東地区の高級リゾートホテルの造園緑化工事の完工等により、計画を上回るペースで順調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,757,946千円（前年同四半期比14.6%増）、営業利益は280,873千円（前年同四半期比71.5%増）、経常利益は286,080千円（前年同四半期比70.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は198,021千円（前年同四半期比71.4%増）となり、第1四半期連結累計期間としては、売上高・利益ともに過去最高の数値となりました。

なお、当社グループは造園緑化事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形・完成工事未収入金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて104,000千円減少し、5,672,332千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、支払手形・工事未払金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて278,046千円減少し、1,353,805千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて174,045千円増加し、4,318,527千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,631,424	2,684,889
受取手形・完成工事未収入金	1,110,267	935,252
未成工事支出金	14,182	15,945
販売用不動産	42,241	29,912
その他	68,137	74,519
貸倒引当金	△4,901	△4,320
流動資産合計	3,861,351	3,736,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	435,225	429,368
土地	938,169	963,703
その他（純額）	20,993	25,228
有形固定資産合計	1,394,388	1,418,301
無形固定資産	32,630	32,054
投資その他の資産		
その他	494,680	492,497
貸倒引当金	△6,719	△6,719
投資その他の資産合計	487,961	485,778
固定資産合計	1,914,981	1,936,134
資産合計	5,776,333	5,672,332
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	566,668	463,233
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	26,664	25,806
未払法人税等	103,550	46,583
未成工事受入金	83,469	86,382
賞与引当金	44,963	3,228
完成工事補償引当金	15,555	15,900
その他	354,497	272,746
流動負債合計	1,395,368	1,113,881
固定負債		
長期借入金	25,272	19,464
役員退職慰労引当金	169,118	171,289
退職給付に係る負債	41,632	42,241
その他	460	6,929
固定負債合計	236,482	239,923
負債合計	1,631,851	1,353,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,833	412,833
資本剰余金	354,132	354,132
利益剰余金	3,278,956	3,418,582
自己株式	△282	△282
株主資本合計	4,045,639	4,185,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,010	132,430
その他の包括利益累計額合計	98,010	132,430
新株予約権	831	831
純資産合計	4,144,481	4,318,527
負債純資産合計	5,776,333	5,672,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,534,295	1,757,946
売上原価	1,090,477	1,204,848
売上総利益	443,818	553,097
販売費及び一般管理費	280,032	272,224
営業利益	163,785	280,873
営業外収益		
受取配当金	2,825	3,592
受取地代家賃	2,187	1,724
受取保険金	1,121	1,936
その他	560	402
営業外収益合計	6,694	7,655
営業外費用		
支払利息	309	520
不動産賃貸費用	1,924	1,923
その他	0	4
営業外費用合計	2,234	2,447
経常利益	168,245	286,080
税金等調整前四半期純利益	168,245	286,080
法人税、住民税及び事業税	24,917	41,177
法人税等調整額	27,774	46,881
法人税等合計	52,692	88,059
四半期純利益	115,553	198,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,553	198,021

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	115,553	198,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,118	34,419
その他の包括利益合計	8,118	34,419
四半期包括利益	123,672	232,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,672	232,441

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、造園緑化事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	9,178千円	8,544千円